

地方創生で産学協定

長崎総合科大と親和銀

長崎総合科学大学、親和銀行 及び おくおかフィナンシャルグループによる
産学連携の協力推進協定書 締結式



長崎総合科学大(長崎市)と親和銀行(佐世保市)、同行親会社のふくおかフィナンシャルグループ(FFG、福岡市)は29日、地方創生の推進を柱とする産学連携協定を結んだ。同大が持つ理工学系の研究成果や技術と企業ニーズのマッチングなどを通して、地場中小企業の活性化や若者の地元定着を目指す。

同大が金融機関と産学連

協定書に調印した立石理事長(右)と吉澤副取

長崎市、長崎総合科学大

携協定を結ぶのは初めて。親和銀にとっては、長崎大(長崎市)に続いて2件目となる。

連携内容は、学内の研究成果の事業化や地域発ベンチャーの支援、セミナーの共催など。長崎総合科学大は国が五島市沖で進める浮体式洋上風力発電実証事業や、NPO法人長崎海洋産業クラスター形成推進協議会の運営に携わっている。こうした分野を含め、地場企業への技術・経営面の支援や、FFGの海外拠点を生かした海外展開、留学生の受け入れ支援などを想定している。

長崎市網場町の同大で締結式があり、同大の立石理事長は「中小企業活性化に向け必要な研究・開発、支援ができると思う。実効ある連携になるよう精いっぱい頑張る」、吉澤俊介頭

取は「学生の地元企業就職たい」と語った。(田賀農謙龍)

2015年9月29日 長崎新聞 P. 11